

看護部 通信

2017年夏号

平成 29 年の病院スローガンは「ビジョン・ミッション・リノベーション」です。「リノベーション」とは「改革・刷新、手を加えてよくする」という意味を持ち、一般病床と事務部門、スタッフ休憩室などを改築した HCU は、まさにリノベーションです。HCU とは ICU を退室される方、全身麻酔の手術後の方、緊急入院など、病状が重篤で不安定な患者さんを集中的にケアする部門です。オープンフロア 6 床と個室 2 床の 8 床からなり、4 対 1 看護配置としています。



梅雨の晴れ間にのぞく青空に、夏らしさを感じながら 1 泊 2 日の新人職員宿泊研修を終えることができました。

看護師 37 名、薬剤師 5 名、臨床検査技師 1 名の合計 43 名と指導者 23 名が参加し、地元観光地の道後温泉にある「にぎたつ会館」で研修を行いました。

1 日目はコミュニケーション技術の習得を中心に、ゲームなどを取り入れながら楽しくグループワークを行いました。接遇研修では、つながる心と『気配り・手配り・目配り・声配り・笑顔』のプラス α の心を学び、色紙でコンシャス(意識する)ボード

HCU(ハイケアユニット)運用開始にあたって

看護副部長 HCU 師長 小松 由美子



役割は、ICU と一般病棟の橋渡し役と考えています。緊急入院や、手術を受ける患者さん・ご家族に安心して治療に専念できる環境を提供できるよう努めています。

HCU では診療科の枠を超えてリハビリ部門・薬剤師・MSW などの様々な職種が病状の評価を行い、最善のケアを提供し、一般病棟で管理できる状態まで回復した時点で退室となります。

従来、ICU から一般病棟へ帰室するケースの多くは、十分なケアと観察を要し、病棟看護師も多くの

スキルと労力を求められます。患者さんには安心・安全を、病棟看護師には余裕のあるベッドサイドケアなどの負担軽減に繋がるのが期待できると考えています。

また、スタッフは様々な年齢層により構成されています。多岐にわたる病状に対し、適切な看護を提供するために、観察力・アセスメント能力・判断力・予測力を養うことを目標に掲げ、「専門職」として「人」としての成長を目指したいと考える所存です。

新人職員宿泊研修に参加して

看護副部長 医療安全管理者 川本 美加



を作成し、個性豊かに仕上がりました。常に目に付くところに掲示し、意識しながら業務に取り組んでいます。

プラス α の心について、真剣にディスカッションしたあと、ロールプレイで披露しました。笑いの中にも多くの学びがあり、明日からの業務に活かせる内容でした。

2 日目も天候に恵まれ道後散策を兼ねたオリエンテーリングを行い、近場ではありますが、普段行くことのない観光名所を回ることで地元の良さを再発見しました。

入職後 3 カ月という時期は業務に慣れ始めた喜びもある反面、リア

リティショックなど様々な悩みを抱え始める時期です。

宿泊研修を通して、同期同士がじっくり話し合い悩みや喜び、夢を語り合うことができ、心身のリフレッシュを図ることができました。

また、指導者側も仕事の中では見ることのできなかった新人の新たな一面を発見し、これからの関わりに繋げていけると思います。

日常を離れて様々な体験を行えた 2 日間の研修は、新人職員だけでなく指導者にとっても有意義な時間でした。

